

## 菜の花プロジェクト2016 報告会

平成28年12月3日（土）午前9時30分から、鳥取中央農業協同組合本所（グリーンコープ グリーン・太陽閣）を会場に倉吉市内小学校児童代表（46名）、中学校生徒代表（24名）が集まり、「菜の花プロジェクト2016 報告会」を開催しました。



初めに、福井教育長が「10月に鳥取中部地震が起き、本当に多くの方が被災され今でも苦しんでおられる。しかし、たくさんの方から支援や激励をいただき元気をいただいた。本当にありがたいと思っている。人を元気にするという意味でも今日の発表を楽しみにしている。みなさんには倉吉を誇りに思ってもらいたいし、どこに行っても倉吉のことが語れる、そして今自分ができることができるとできる大人になってほしい。」とあいさつしました。

その後、各小中学校の代表が発表を行いました。菜の花の種をまいた時の様子と今の苗の様子をスライドで紹介しながら、各学校の取り組みの報告や今後引き継ぎたいことについて提案しました。主な発表内容は以下のとおりです。

### 【各学校の取り組み報告】

#### ■菜の花について…「広げよう感謝の花の黄色いじゅうたん」

- ・菜の花を入学式で飾った
- ・菜の花プロジェクトの歴史・目的を説明（市教委、菜の花プロジェクト初代卒業生を活用）
- ・地域の方に耕うん、畝づくり、草抜き等をしてもらった
- ・地域の方と一緒に種まき（土曜授業も活用して）
- ・小学生と中学生と一緒に種まき（中学校にて）
- ・保育園児と一緒に種をまく（上学年が教える）
- ・水やり、追肥、間引き、植え替え、藁敷き
- ・プランターに植える
- ・プランターをプレゼント（公民館、地域の方、保育園、児童クラブ）
- ・種の収穫（全校で、地域の方と）
- ・菜種を配布（運動会・文化祭・イベント・学校公開などで、来賓・地域の方・独居老人・関係機関に）
- ・ちらし、ポスター、看板、プランターにつける絵の作製
- ・ちらしや放送で種まきの協力を地域や保護者に呼びかけ
- ・菜種を配布する際の封筒の作製
- ・校内に菜の花中継コーナーを作成・掲示
- ・ウェブページで菜の花プロジェクトの活動報告
- ・菜種油の搾油、地域の方への配布、料理への活用

#### ■協力していただいた地域の方々や団体

- ・公民館
- ・保育園
- ・ボランティアの方
- ・シニアクラブ、老人クラブ
- ・地域の方
- ・保護者

#### ■菜の花以外に取り組んだこと



- ・エコキャップ運動、プルタブ集め
- ・あいさつ運動（色々な国の言葉で、数値目標を設置して）
- ・他の花の栽培
- ・クリーン活動、地域の清掃活動（玉川の清掃）、ゴミ拾い大作戦、地域の方との交流掃除
- ・かぐや姫プロジェクト（地域の不要な竹の伐採）
- ・地域貢献プロジェクト学習（出身小学校でのあいさつ運動、ベンチづくり等）
- ・熊本への義援金運動（校外外で）
- ・宮城県の復興の手助けのためクヌギとコナラの植樹（2年後に送る）

**【次年度に引き継ぎたいこと】**

- ・種をまく場所をもっと広げたい（河川敷にも）
- ・地域の方等にも種を分けてあげる
- ・立派な花を咲かせてほしい（世話の仕方の工夫）
- ・菜の花以外の活動の充実
- ・あいさつ運動の継続
- ・菜の花プロジェクトに関心を持ってもらう活動
- ・きれいな環境づくり
- ・収穫した種の活用

各校の報告後の感想発表では、例年以上に児童生徒の挙手が多く、指名するのに困るほどでした。発表の最後に中学生が「各学校の取り組みはいろいろあったけど、どの学校も菜の花プロジェクトを通して地域や人とつながっていくという本質を理解した取り組みが行われていたのが素晴らしかった。」とまとめてくれました。



続いて、次年度に引き継ぎたいこととアピールについて全体で確認しました。このアピールは、中学生が原案を考えたものです。この確認の中で、代表の中学生は、「関係機関、地域の方と協力してまちづくりのための活動を、今後も進めていきたい。」と力強く話していました。

**【 菜の花プロジェクト2016アピール 】**

- ・つなげよう 地域の笑顔と絆の輪
- ・広げよう 倉吉に子どもたちの元気を
- ・伝えよう 黄色い未来 我らのふるさと

アピールが採択された後、関係機関の方々から指導講評をいただきました。

**【J A鳥取中央 栗原専務】**

毎年発表を聞いているが、活動の内容・発表の態度が年々良くなってきている。最初は咲かなくて大変苦労をしたが、今ではきれいな花を咲かせている。地域との交流や学校間での交流も盛んになってきている。今後は、「黄色いじゅうたん」となるように範囲を広げてほしい。また、菜種の活用にも取り組んでほしい。



**【国土交通省倉吉河川国道事務所 神宮所長】**

報告について、取りまとめも説明もとても上手であった。意見発表も積極的であり、こちらが見習いたいくらいであった。キーワードとして「地域」「地域への感謝」ということが出ていたが、防災の面からも地域とのつながりはとても大事なことである。また、菜の花の種を蒔く場所として、是非河川敷を活用してほしい。このプロジェクトは倉吉の宝でありの継続を望む。



### 【中総合事務所県土整備局 竹森局長】

皆さんの思いのこもった発表を聞いて、菜の花プロジェクトの本来の意味を初めて教えてもらった。パワーポイントや動画などを使って工夫をしながら発表している様子を見て、将来倉吉を力強く担っていく人達だと心強く思った。来年度以降の活動も更に充実したものとなるよう願っている。



### 【鳥取県立農業大学校 門脇准教授】

花を見て嫌いな人はいないと思う。花は人の心を明るくする。豊かにしてくれる。そのための菜の花プロジェクトではないかと思う。花の数に余裕のある学校は、花を摘んできて教室に飾ってみてほしい。教室の雰囲気が変わるし、菜の花プロジェクトを再認識することにつながると思う。皆さんの発表態度・聞く態度には大変感心をした。



最後に当日開催されていたJA鳥取中央主催の大農業祭のステージを借りて「菜の花プロジェクト2016アピール」を行いました。各中学校の代表生徒が各関係機関の方々にアピール文を贈呈しました。



8年目を迎える今年は、ある中学校で、菜の花プロジェクト1期生が教育実習生として帰って来ていたので、当初の思いを後輩達に伝える機



会をつくったそうです。その思いを後輩達がしっかりと受け止め、今年の活動につなげました。8年目となり、こうして先輩の思いを伝えていくサイクルができる活動になったのだと実感しました。

ふるさとに誇りと愛着を持つ児童生徒の姿に、心強さを感じ、倉吉の明るい未来を感じることができた一日でした。

### 【児童生徒の感想より】

- ・それぞれの小中学校でいろいろな活動をしていたので、次の執行部にしっかりと引継ぎをして良い伝統を守っていきたいと思いました。
- ・「菜の花を入学式で使う」という案が良いと思ったのでやってみたいと思いました。また、小学校と交流するのはとても良いことだと思ったので、来年はしてほしいと思いました。
- ・各学校の取り組みが分かり、「そんなやり方があったのか」と新しい発見がたくさんありました。また、各学校のリーダー達だけあって、自分達の取り組み内容や思いがとても分かりやすかったです。今日学んだことを学校に持ち帰り、学校創りに活かしていきたいです。
- ・今日の報告会で、地震への募金活動や全学年での種まきで、地域や人とのつながりを深めるための活動が、菜の花プロジェクトだと分かりました。
- ・菜の花を咲かせるだけでなく、種から油をとってお菓子を作るなんていい工夫だなあと思いました。僕たちもやってみたいです。

